

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|--|---|----|---------------|------------------|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 活動をグループ分けしたりすることで屋内・屋外での活動分けをしている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 自発的な行動と自立を促す為、安全へ配慮した上で手を貸しすぎない点を重している。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 玄関スロープまでのアプローチが砂利道になっている。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 職員間で業務洗い出しを行い、業務分担をし事業所内で共有している。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 今回実施。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | | | ○ | 今後実施。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 法人として検討中。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 法人として年2回、他は適宜行っている。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児童発達管理責任者並びに常勤職員を主体に作成している。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | | ○ | 個々の計画に反映できるよう保護者からや、関係機関と共有しながらできるように取り組んでいきたい。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | | ○ | | スタッフの提案と当日の利用者の意向で進めている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 利用者状況を考慮し、その日ごとのプログラムを考えている。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | 利用者全員の状況と意向を踏まえ、活動を決めている。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 個々の障がい特性を考えながら、個別の支援と集団での活動を組み合わせられるよう考慮している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 毎日行っている。 |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 常勤職員を主体に毎日行っている。 | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------------------------|---|--|----|---------------|-----|---|
| 適切な支援の提供 | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 個別での記録作成を徹底し、スタッフ会議・個別支援会議等で話し合いを行っている。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 計画作成前にモニタリング面談を行っている。又は状況に応じて適宜行う。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | ○ | | | ガイドラインに沿った活動を行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児童発達管理責任者並びに常勤職員を主体に参加している。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | | ○ | | 保護者に依頼する形で学校の情報収集を行っている。(直接の共有は出来ていない)多数の学校とのつながりがあるので情報を整理し、月・週・日々の予定作成をおこなっている。トラブル発生時は、すぐに関係機関に連絡する等に対応している。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | | 該当の利用者がいない。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 相談支援事業所の協力のもと情報共有に努めている。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | 卒業生がいないため今後、必要に応じて対応する。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | ○ | | 事業所連絡会を通じて研修を行っている。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 今後、行っていきたい。 |
| | ㉗ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | 協議委員に選ばれていない。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 送迎時での会話による情報共有に努めている。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 直接的には行っていない。保護者が直面した悩みや対応等について、緩やかな理解向上に繋がる支援を行っている。 |
| 保護者への説明責任等 | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に説明をする。随時不明な点は対応している。 |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 相談員と連携して、慎重に対応している。 |
| | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 年に一度、法人内の他事業所と合同で懇談会を開催し、意見交換を行っている。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-----------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 保護者への説明責任 | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 苦情があった場合は、すぐに報告を上げて対応している。 |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 法人としての広報誌を発行している。事業での連絡事項又はお知らせ等については、その都度の案内を配布する。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 鍵付きの書庫に保管している。 |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 利用者においては、個々のツールで対応。(マカトン・声明け等) 保護者においては、送迎時に伝える又は連絡帳など。時には電話等で直接話をして対応。 |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 招待出来る行事がなく、また体制が困難な為、地域行事への参加に努めている。養護学校のイベントには参加。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 法人として委員会等を設置し、策定・運用している。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な言川練を行っているか | ○ | | | 同上。(年2回実施している) |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | | ○ | | 研修をもっと増やしたい。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | ○ | | 具体的な対応について、組織的な決定ではないが、職員間での共通理解を図り、個別支援計画にはその可能性について記載をし保護者に対しても説明を行っている。また、やむを得ない緊急時の身体拘束等に関する説明書等の準備をしてある。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | ○ | | 保護者からの情報を基に対応している。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 事業所ごとに月一回のスタッフ会議等で行う。法人全体では、月一回の月報、年一度のまとめに共有し対応策についての検討している。 |